

2026年2月27日

報道関係各位

野村不動産ホールディングス株式会社
株式会社ゴーレム

AI活用により、建物建設時のCO2排出量を自動算定する新たな取組を開始



あしたを、つなぐ — 野村不動産グループ
野村不動産ホールディングス

野村不動産ホールディングス株式会社（東京都港区、代表取締役社長 兼 社長執行役員：新井 聡、以下「野村不動産ホールディングス」）と、不動産・建設業に特化したデータプラットフォーム「Gorlem Platform」を運営している株式会社ゴーレム（東京都千代田区、代表取締役：野村 大輔、以下「ゴーレム」）は、AIを活用して建物のライフサイクル全体のCO2排出量を正確に算定するシステム「Gorlem CO2」（ゴーレムシーオーツー）を活用し、野村不動産株式会社（東京都港区、代表取締役社長：松尾 大作）が手がける建物建設時のCO2排出量を自動算定する取組を開始しましたので、お知らせいたします。

取組の背景

野村不動産グループでは、2050年のありたい姿としてサステナビリティポリシー「Earth Pride-地球をつなぐ-」を策定しています。

2050年のありたい姿を実現するため、2030年までに優先して取り組むべき課題として、「ダイバーシティ&インクルージョン」「人権」「脱炭素」「生物多様性」「サーキュラーデザイン」の5つの重点課題を特定しています。

社会と社員



ダイバーシティ&
インクルージョン



人権

気候変動と自然環境



脱炭素



生物多様性



サーキュラーデザイン

重点課題のひとつである「脱炭素」において、計測指標（KPI）として「CO2のScope1,2排出量60%削減、Scope3排出量50%削減（2019年度比）」や「新築物件における省エネルギー性能指標 ZEH/ZEB oriented 水準を確保」を掲げています。

気候変動と自然環境   	CO ₂ のScope1,2排出量60%削減、Scope3排出量50%削減(2019年度比)	CO ₂ 排出量の削減 ☐ 脱炭素
	新築物件における省エネルギー性能指標 ZEH/ZEB oriented水準を確保	環境認証(DBJ Green Building、LEED、CASBEE、BELSなど)取得 ☐ 脱炭素
	木質化建物の開発:炭素貯蔵量 10,000t-CO ₂ /年	国産・認証木材使用の促進 ☐ 生物多様性
	生物多様性に関する認証取得	生物多様性認証(ABINC/JHEP/SEGES)取得数 ☐ 生物多様性
	建物の長寿命化への取り組み:自社基準実施率100%	長寿命・高耐久化の商品・サービスの提供 ☐ サークュラーデザイン
	廃棄物量削減と廃棄物再利用率向上:産業廃棄物量削減率20%	廃棄物排出量削減 ☐ サークュラーデザイン

同社グループ会社の野村不動産株式会社では、不動産事業を多岐に渡り手がけています。不動産事業と関わりの深い建築分野において、CO₂ 排出量は全産業の約 1/3 を占めると言われており、脱炭素を進める上で影響が大きい分野として位置付けられています。そのため、建築分野の CO₂ 排出量の可視化及び削減の取組は喫緊の課題となっています。建築分野の CO₂ 排出量の削減を行う上では、建物の材料調達から施工、その後の使用段階を経て解体・廃棄までに発生する CO₂ 排出量を正確に算定することが重要です。

一方で、CO₂ 排出量の正確な算定には、建物の構成部材の一つひとつを所定の CO₂ 排出原単位と紐付ける必要があり、専門知識を有する技術者が注意深く確認しながら手作業で行うため、多大な時間を要することが課題でした。

「Gorlem CO₂」の概要

本システムの特長は、従来、専門的な知識を有する技術者が手作業で行っていた CO₂ 排出量の算定作業を自動化し、大幅に作業時間を削減しつつ、誰でも正確に CO₂ 排出量を算定できることです。また従来は、CO₂ 排出量の算定を行う際、取引先である建設業者ごとに書式の異なるデータを読み解く必要がありましたが、AI を活用した本システムを利用することで、業務の運用方法を変更することなく、業務効率化を実現することができます。

今後の展開

野村不動産ホールディングスとゴーレムは、今後、同システムを利用することで、CO₂ 排出量算定の効率化を図ります。また、CO₂ 排出量の具体的な削減策の立案・推進により、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

CO₂ 排出量算定に関わる業務以外においても属人化している業務の効率化を実現すべく、不動産事業に関わる業務内容を中心に自動化を進め、人手不足や専門的な知識が必要な業務の領域において優先的に生産性の向上を実現してまいります。

■野村不動産ホールディングスについて

社名：野村不動産ホールディングス株式会社

本社：東京都港区芝浦一丁目1番1号 BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S

代表者：代表取締役社長 兼 社長執行役員 新井 聡

事業内容：株式の所有を通じたグループ会社の事業活動の管理及び経営指導

会社 HP：<https://www.nomura-re-hd.co.jp/>

■野村不動産株式会社について

本社：東京都港区芝浦一丁目 1 番 1 号 BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S

代表者：代表取締役社長 松尾 大作

事業内容：マンション分譲事業、戸建分譲事業、投資・開発事業、ビルディング事業
建築・設計事業、資産運用事業など

会社 HP：<https://www.nomura-re.co.jp/>

■ゴーレムについて

社名：株式会社ゴーレム

本社：東京都千代田区一番町 15 番地 21

代表者：代表取締役 野村 大輔

事業内容：DX プロダクトの開発と運用、建設・建物の DX 支援

会社 HP：<https://www.about.gorlem.com/>